

# 令和元年度 決算について

令和2年6月9日  
本州四国連絡高速道路株式会社

令和元年度（第15期）決算についてお知らせします。

## 令和元年度 決算について

### I 決算概要

1. 令和元年度 事業概要
  - ① 高速道路事業
  - ② 関連事業
2. 令和元年度 経営状況
  - 連結決算の概要
  - （参考）個別決算の概要

### II 決算資料

1. 連結決算
  - ① 連結貸借対照表
  - ② 連結損益計算書
  - ③ 連結株主資本等変動計算書
  - ④ 連結注記表
2. 個別決算
  - ① 事業報告
  - ② 貸借対照表
  - ③ 損益計算書
  - ④ 株主資本等変動計算書
  - ⑤ 個別注記表
  - ⑥ 附属明細書

# I 決算概要

## 1. 令和元年度 事業概要

### ① 高速道路事業

- ・神戸淡路鳴門自動車道で整備を進めていた淡路北スマート I C が令和 2 年 3 月に開通しました。
- ・本四高速道路をお客様に「安全」「安心」「快適」にご利用いただくため、道路巡回、路面清掃、適切な情報提供などの管理に努めるとともに、舗装補修、長大橋塗替塗装、橋梁耐震補強、コンクリート橋の塩害対策等の工事を計画的かつ効率的に実施しました。
- ・地域活性化の取組として、周遊観光ワークショップの開催や、インフラツアーにも積極的に取り組みました。
- ・当事業年度の通行台数は、新型コロナウイルス感染症による影響から 3 月に前年同月比 11.7% 減となったものの、年度前半を中心に好天や大型連休等の好条件に恵まれたことから、前事業年度比 2.0% 増の 4,420 万台と過去最高となりました。その結果、料金収入は前事業年度比 1.7% 増の 666 億円となりました。
- ・独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構への道路資産賃借料の支払額は 472 億円となり、協定額よりも 58 億円多く支払いました。



淡路北スマート I C  
(神戸淡路鳴門自動車道)



コンクリート橋の塩害対策  
(瀬戸中央自動車道)



瀬戸大橋スカイツアー  
(瀬戸中央自動車道)

### ② 関連事業

- ・お客様サービス向上のため、S A ・ P A において各種イベントを実施するとともに、施設の整備・充実に取り組みました。
  - 瀬戸内しまなみ海道開通 20 周年記念セール等のイベントを実施
  - 鴻ノ池 S A において、24 時間利用可能なベビールームを新設
- ・長大橋の建設・管理技術を活用して、J I C A ( (独) 国際協力機構) 及び地方公共団体等から、長大橋技術支援業務や高速道路上における跨道橋点検業務等を受託しました。



瀬戸内しまなみ海道  
開通 20 周年イベント(大浜 P A)



ベビールーム  
(鴻ノ池 S A)



長大橋技術支援  
(愛媛県受託/岩城橋)

## 2. 令和元年度 経営状況

### 連結決算の概要

(単位：億円)

項目	令和元年度 決算	平成30年度 決算	増減		
			増(△)減	対前年 増減率	
営業収益	高速道路事業	759	748	10	1.3%
	料金収入	666	654	11	1.7%
	道路資産完成高	88	91	△ 2	△ 2.9%
	その他の売上高	4	2	1.5	55.5%
	関連事業	52	58	△ 5	△ 9.7%
	休憩所等事業	16	16	0.06	0.3%
	受託事業等	35	41	△ 5	△ 13.9%
	811	807	4	0.5%	
営業費用	高速道路事業	758	750	8	1.0%
	道路資産賃借料	472	463	8	1.9%
	道路資産完成原価	88	91	△ 2	△ 2.9%
	管理費用	197	195	1	0.9%
	関連事業	45	51	△ 6	△ 12.3%
	休憩所等事業	13	13	0.06	0.5%
	受託事業等	32	38	△ 6	△ 16.7%
	803	802	1	0.2%	
営業利益	高速道路事業	0.5	△ 1.6	2.2	—
	関連事業	7.2	6.6	0.6	10.0%
	7.8	4.9	2.9	59.6%	
経常利益	10	7	2	38.6%	
当期純利益	7	4	3	62.8%	

(注) 令和2年度通期見込みについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、今後の収入動向等が極めて不透明であることから、現時点では未定としております。

## (参考) 個別決算の概要

(単位：億円)

項目	令和元年度 決算	平成30年度 決算	増減		
			増(△)減	対前年 増減率	
営業 収益	高速道路事業	758	748	10	1.4%
	料金収入	666	654	11	1.7%
	道路資産完成高	88	91	△ 2	△ 2.9%
	その他の売上高	4	2	1	84.6%
	関連事業	33	39	△ 5	△ 15.0%
	休憩所等事業	4	4	△ 0	△ 0.1%
	受託事業等	29	35	△ 5	△ 16.8%
	792	787	4	0.6%	
営業 費用	高速道路事業	758	749	8	1.1%
	道路資産賃借料	472	463	8	1.9%
	道路資産完成原価	88	91	△ 2	△ 2.9%
	管理費用	197	194	2	1.2%
	関連事業	32	39	△ 6	△ 16.3%
	休憩所等事業	3	3	0.03	0.9%
	受託事業等	28	35	△ 6	△ 18.1%
	791	788	2	0.2%	
営業 利益	高速道路事業	0.4	△ 1.5	2.0	—
	関連事業	1.0	0.6	0.4	61.3%
(△は損失)	1.5	△ 0.9	2.4	—	
経常利益	3	2	1	57.8%	
当期純利益	3	1	1	59.6%	

(注) 令和2年度通期見込みについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、今後の収入動向等が極めて不透明であることから、現時点では未定としております。

## II 決算資料

### 1. 連結決算

- ① 連結貸借対照表
- ② 連結損益計算書
- ③ 連結株主資本等変動計算書
- ④ 連結注記表

### 2. 個別決算

- ① 事業報告
- ② 貸借対照表
- ③ 損益計算書
- ④ 株主資本等変動計算書
- ⑤ 個別注記表
- ⑥ 附属明細書